

船町地区・厄神地区 まちづくり通信

NO.3
2024.2

第2回目の会合を2024年1月27日（土）に行いました。
はじめに、「田園まちづくり制度」の内容と前回出た意見についてコンサルタントより説明がありました。その後、グループに分かれて「課題を解決するためのアイデア」を考えるとともに、地図上に「人が暮らす場所」「暮らしを支える場所・モノ」を確認しながら意見交換を行い、最後にグループで出た意見を発表し、皆で共有しました。
最終回となる次回は、検討してきた内容を踏まえ必要なことを整理し確認していきます。地域の方向性を考える回になりますので、ぜひご参加ください。



第2回目の内容は
裏面に記載していません。
ぜひ、確認ください



当日の様子

厄神駅前を含むまち全体の目指すべき姿を考える [第3回]

<日程> 2024年 **2月25日（日）**

<時間> **19時より** 約2時間予定

<会場> **船町公会堂**

<議題> ・厄神駅周辺の将来像を考えるために必要なことは何かを確認する

次회가最終回です
土曜日から日曜日
変更になっています
注意してください





(意見の抜粋)

「新規居住者の受け入れ体制に向けて」アイデアを出そう

- ・入居者に向けて、事前に町内の年間計画を掲示やチラシでお知らせする。
- ・入居者に向けて、事前に町内会費の額や町内活動への参加を案内する。
- ・まちのことを理解してもらおう<お互いさま>新しい人を理解する努力をする。
- ・町内会はみんなの協力がなくうまく運営できないことを知ってもらう。
- ・町内会の「約束事」を事前に知ってもらう。
- ・協定書作成・締結のときに、あわせて町内会加入の契約（誓約）書面をかわす。
- ・町内会等の活動に参加しないときは、協力費をもらうなど。

これらはアイデアで実施を確定したものではありません



駅があるメリットを活かす

地域自体の活性化が必要

- ・厄神駅のバリアフリー化（エレベーター設置）が必要
- ・厄神駅の利用者が増えることが大切。乗降客が増えればバリアフリー整備される。駅周辺に店舗等ができたり、住民が転入したりするのではないかな。
- ・厄神駅は通勤に便利。賃貸マンションができればニーズがあるだろう。

